

EXtra, EXpert and EXtreme  
EXPRESS--

SUGO SUPERBIKE 120 miles ENDURANCE RACE



JSB 1000

QUALIFYING PRACTICE REPORT &amp; INTERVIEW

最後に逆転、3戦連続でポールポジションを獲得した中須賀克行

# ウエットでも速さを見せつけた中須賀が 3戦連続ポールポジションを獲得! 秋吉耕佑が宇宙人ぶりを発揮して2番手!!

今年もSUGOラウンドは、120マイル(約194km)で争われる。1周3737.5mのスポーツランドSUGOを52周することになり、必ず1度はピットインしなければならないレギュレーションとなった。昨年は、大雨のためにレースがディレイ。40周に短縮され、ピットイン義務がなくなり波乱の展開となったが、今年は、どんなレースとなるのか!? セミ耐久レースとなるだけにライダーは1人でも2人でもOKという、このレースだけの特別なルール。ほとんどが1人で走るが、Team GREENの柳川明/渡辺一樹、au&テルル・Kohara RTの秋吉耕佑/渡辺一樹、YAMALUBE RACING TEAMの野左根航汰/藤田拓哉、CONFIA Flex Motorrad39の酒井大作/武石伸也組など7チームが2人でエントリーしている。2人だと体力的な部分では有利となるが、同じマシンを同じ速さで走らせることができるとは限らない。マシンセットの相性など様々な要因が絡んでくるが、ビタリとハマったときは強いだろう。

金曜日の走行はドライコンディションとなり事前テストから速さを見せている中須賀克行が、さらにセッティングを詰めながら午後の走行でロングランを敢行。その中で1分26秒741というコースレコードを上回るタイムを出していた。事前テストでは1分26秒669を記録しており一発タイムならば、もっと出すことができると語り、あくまでも決勝を見据えてマシンをセットアップしてきた。しかし、この日の夜から雨が降り始め東北地方は観測史上最も遅く梅雨入り宣言が出されていた。雨は、そのまま降り続

き土曜日のスポーツランドSUGOは一日中雨模様となった。

JSB1000クラスは、1時間の計時予選で争われたが2度、赤旗中断があるなど波乱含みのセッションとなった。その中で光る走りを見せたのは秋吉耕佑だった。Honda CBR1000RRのキット車ながら水を得た魚のようにウエット路面を積極的に攻めリーダーボードのトップに立つ。秋吉は、セッション終盤に、さらにタイムを更新し1分36秒160をマーク。他のライダーは1分37秒を切ることができないだけに、このまま秋吉がポールポジションを獲得するかとされた。しかしゼッケン1をつける男が、それを許さなかった。中須賀は1分36秒台に入ると、1分35秒710までタイムを上げ3戦連続ポールポジションを獲得する。

「今年は、マシンがフルモデルチェンジしただけに、各サーキットで初めて走らせる状態が続いていますが、レースをこなしていく度にマシンはまとまってきました。ただ、ドライのセットでウエットを走ることができていないので、もしウエットからドライに変わっていくような路面コンディションだと難しいレースになるかもしれません。ドライならドライ、ウエットならウエットで走りたいですし、いいレースができる自信があります」と中須賀。

2番手につけた秋吉は、「雨はいい状態にありますね。タイムも一発ではないですし、1分36秒台で周回できると思うのでレースはウエットコンディションになって欲しいですね。ウエットならば、まず序盤

は、様子を見てレースメイクしていきたいと思っています」とウエットならば自信があると語る。

3番手にはウエットが苦手だと言っていた高橋巧がつけた。「トップとはタイム差があるけれど、方向性は見えて来ました。まだ秋吉選手が普通に入っていけるコーナーを躊躇してしまうところがあります。レースは長いので川になっている部分など路面コンディションを見ながら走って行こうと思っています」と冷静に自分自身の状況を把握していた。

昨年、このレースで劇的な優勝を果たしている加賀山就臣も、ウエットコンディションで気を吐き4番手につけた。「昨年の経験もありますし、あくまで決勝を見据えて予選を走りました。ロスしているポイントもハッキリしていますし、そこを解決できればいいレースができると思います」と2年連続優勝を虎視眈々と狙っている。

山口辰也、渡辺、今回がYAMALUBE RACING TEAMで初レースとなる藤田、津田、酒井、浦本修充と、どのライダーも上位に食い込んでもおかしくない実力の持ち主。スタートはマシンにライダーが駆け寄りル・マン式。レース序盤は、各ライダーがけん制しながらペースをつくっていくことになる可能性が高いが、逃げるができるならば序盤からペースを上げて来るだろう。ウエットならば中須賀と秋吉、そして加賀山が仕掛けてくる可能性がある。ピット作業でバックアップするチームワークも見どころの一つ。果たして120マイル先のチェッカーフラッグを真っ先に受けるのは?



予選2番手 秋吉耕佑(写真)/渡辺一馬組



予選3番手 高橋巧

## POLE POSITION INTERVIEW



**JSB 1000**  
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

ポールポジション:1分35秒710  
#1 中須賀克行  
YAMAHA FACTORY RACING TEAM

『今年はマシンがフルモデルチェンジされたので成績こそ出ていますが、開幕戦、第2戦と苦勞した部分がありました。前回ぐらいからマシンがまとまってきて、今回のウエットでもいい状態になってきています。もちろんドライでも事前テストからいいタイムが出ていますし、どちらでもいいレースができると思います。とにかく120マイルとレースが長いので楽にいいタイムを刻めるマシンにすることを最優先にマシンをセットアップしました。自分の状態もバイクも去年よりよくなっているので自信を持って連勝を伸ばせるように、しっかりレースを戦って行きたいと思っています』

**J-GP3**  
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP  
QUALIFYING PRACTICE  
REPORT & INTERVIEW

## 宇井陽一が雨の予選でポールポジションを獲得! 「レースは気持ち良く楽しんで走りたい」



宇井陽一

朝から雨となった公式予選日、J-GP3の予選セッションは澁田農央、真崎一輝、國峰琢磨らの若手ライダーに混じってベテランの宇井陽一や女性ライダーとして奮闘する岡崎静夏も上位に付ける。開始当初はストレート付近では霧も発生するが、セッションが進むにつれてそれも薄れ、後半は激しいアタックが展開された。水野涼、栗原佳祐も入れ替わりトップに立つなど、セッションが進むほどに激しさを増した。

その中で宇井がその時点で唯一の1分44秒896に入れてトップに浮上、真崎も最終周回に44秒915まで上げるが、惜しくも2番手、3番手には

45秒215で栗原、4番手は國峰、水野、澁田、関野海斗、岡崎と続く。



真崎一輝



ポールポジション:1分44秒896  
#410 宇井陽一  
41Planning.GlobalCommunication

『セッション中は思った以上に雨がひどく、コース上には川も出ていました。まだまだマシンは上位陣との差がありますが、雨だとそれが少なくなるし、ドライでは早い若いライダーも、雨だと引き出しの多いボクなんかはまだまだ有利だということですね。タイムとしては、もう少し伸ばせる余地はあったので残念ですが、決勝前のウォームアップで修正して、安定して早いペースで気持ち良く走れるようにしたいと思います。そうすれば優勝も見えてくると思います』

**J-GP2**  
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP  
QUALIFYING PRACTICE  
REPORT & INTERVIEW

## 3戦連続ポールポジションを獲得した高橋裕紀! 「勝利へのこだわりは強くなっています!」

高橋 裕紀



ポールポジション:1分41秒405  
#1 高橋裕紀  
MORIWAKI RACING

J-GP3と同じ40分間のセッションで行なわれたJ-GP2クラスの公式予選。雨は一層激しくなり、コース上はヘビーウエット。その中で序盤からモニータップに立ったのは高橋裕紀。亀井駿、星野知也、作本輝介らが上位に付ける。高橋はトップに立った後もタイムを更新し、5周目に唯一1分41秒405をマークして後続との差を広げた。

仁康が43秒312、亀井、岩田悟、作本、徐々に上がって来た生形秀之と続く。

残り10分、コースコンディション不良により赤旗が提示されセッションは中断、結局そのまま終了することになった。ポールポジションは3戦連続で高橋、2番手に上がった星野が43秒225、続く井筒



星野 知也

『実質的に残り10分あったわけですし、それがあつたら他のライダーの攻撃がどうなっていたか、あるいは自分のタイムもどこまで伸ばせたか、知りたかったですね。その意味では不完全燃焼のセッションと言えるかもしれません。ここは昨年表彰台にも上れなかったコースだし、同じ雨のSUGOでまずは良かったかな、と思います。金曜日のドライでもトップタイムがマークできていますし、決勝レースではどのようなコンディションになっても集中して自分の走りをすれば、結果は出ると思います』

MFJ SUPERBIKE  
EX. EXPRESS.

ALL JAPAN RR  
CHAMPIONSHIP

2015 MFJ SUPERBIKE  
EX. EXPRESS.

ST600 Supported by BRIDGESTONE

**ST 600**  
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP  
QUALIFYING PRACTICE  
REPORT & INTERVIEW



## 岩戸亮介が最終ラップの攻撃で大逆転!! 「スタートを決めてSUGOで結果を残したい!」



岩戸 亮介



ポールポジション:1分39秒674  
#45 岩戸亮介  
Team高武 RSC

雨となった第4戦SUGOのST600クラスの予選セッションは、ワンメイクタイヤ制ながら本数制限はない。そのため時間をフルに使える中、30分間のセッションでは稲垣誠、前田恵助、横江竜司、チャランボン・ボラマイらが開始早々から上位に付ける。中盤にはデチャ・クライサーがトップを奪い、岩戸亮介も加わり、タイムアタックが激しくなる。

チェッカーフラッグが振られたその周りに、岩戸が39秒674をマーク、大逆転でポールポジションを獲得した。

ドライコンディションと違った戦い方が要求されるウエットでの予選セッション。このクラスでも終盤にかけて大逆転劇が見られた。残り3分で岩戸が40秒396でトップに立つが、稲垣が39秒台をマークして奪い返す、横江、さらには榎戸育寛も40秒0までベストを更新してポジションアップ。そして



榎戸 育寛

『レース前のテストからドライでは調子が良くて、雨も苦手ではないので、予選では自信を持って攻めることができました。ただ、セッションは30分と短かったので、バイクの問題も少しはありましたが、それよりも自分の走りすることに専念することにしました。その結果最終ラップにベストタイムを出せました。決勝前のフリー走行でバイクの問題を解消して、決勝には万全の態勢で臨みたいと思います。600に上がって3レース目ですから、決勝レースではまずスタートを決めて、一つずつ吸収していきながら結果を出したいと思います』

MFJ Superbike Round4 **SUGO SUPERBIKE 120 ENDURANCE RACE** 27 - 28 June 2015 公式予選結果



●予選:天候/雨 路面/ウエット 出走22台  
●決勝スタート/13:10(52周-120miles/194km)

Pos.	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	1	中須賀 克行	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	YZF-R1	1'35.710
2	090	秋吉 耕佑★ 渡辺 一馬	au&テレル・Kohara RT	CBR1000RR	1'36.160
3	634	高橋 巧	MuSASHi RT/ハルクラブ	CBR1000RR	1'37.117
4	71	加賀山 就臣	Team KAGAYAMA	GSX-R1000	1'37.251
5	104	山口 辰也	TOHORacingwithMORIWAKI	CBR1000RR	1'37.419
6	87	柳川 明 渡辺 一樹★	TeamGREEN	ZX-10R	1'37.554
7	8	野左根 航汰 藤田 拓哉★	YAMALUBE RACING TEAM	YZF-R1	1'38.451
8	12	津田 拓也	ヨシムラスズキシェアアドバンス	GSX-R1000L5	1'38.981
9	39	酒井 大作★ 武石 伸也	CONFIA Flex Motorrad39	S1000RR	1'39.351
10	73	浦本 修充	MuSASHi RT/ハルクラブ	CBR1000RR	1'39.481
11	11	吉田 光弘	Honda熊本レーシング	CBR1000RR	1'40.258
12	41	伊藤 勇樹	41Planning.Global Communication	YZF-R1	1'40.783
13	13	須貝 義行	チームスガイレレーシングジャパン	1098R	1'40.909
14	32	今野 由寛	Moto Map SUPPLY	GSX-R1000L5	1'41.750
15	15	Josh Hook	F.C.C.TSR Honda	CBR1000RR	1'41.751
16	135	寺本 幸司 児玉 勇太★	Team Tras 135HP	S1000RR	1'42.671
17	16	中村 知雅	チームトモマサ	CBR1000RR	1'42.811
18	36	原田 洋孝 中山 智博★	RS-ガレージハラダ姫路	ZX-10R	1'44.628
19	23	清水 郁巳★ 大木 崇行	HondaDream高崎B'WISE RT中央前橋	CBE1000RR	1'44.699
20	31	菊地 敦	TEAM-WILD☆HEART	CBR1000RR	1'48.717
----- 以上予選通過 -----					
27	井上 健志	炎R-MOTOBUM	CBR1000RR	1'50.926	
47	喜多田 学	(有)成田総合TS関東+ストラトス	1199 Panigale	1'52.580	

予選通過基準タイム (115%) 1'50.778 ★印はベストタイムをマークしたライダー



●予選:天候/雨 路面/ウエット 出走24台  
●決勝スタート/11:05(20周)

Pos.	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	1	高橋 裕紀	MORIWAKI RACING	MD600	1'41.405
2	46	星野 知也	SYNCEEDGE 4413 Racing	HP6	1'43.225
3	11	井筒 仁康	WILL-RAISERACINGRS-ITOH	ZX-6R	1'43.312
4	36	亀井 駿	NTST.ProProject	NH6	1'43.320
5	10	岩田 悟	NTST.ProProject	NH6	1'43.451
6	75	作本 輝介	Team高武 RSC	CBR600RR	1'43.476
7	2	生形 秀之	エスバルスドリームレーシング	GSX-R MFD6	1'43.713
8	392	長尾 健吾	ミクニ テリーアンドカリー	GSXR600	1'43.864
9	95	石塚 健	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'43.880
10	35	日浦 大治朗	MORIWAKI RACING	MD600	1'43.986
11	71	山元 聖	Team KAGAYAMA	GSX-proto71	1'44.036
12	19	中本 翔	リリカAMENA with OUTRUN	YZF-R6	1'44.248
13	15	佐藤 太紀	TEAM PLUSONE	TSR2	1'44.229
14	22	小口 理	ALLMAN&OWRACING	YZF-OWR6X	1'45.213
15	9	大木 崇行	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	1'45.231
16	70	岩崎 哲朗	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'45.636
17	18	瀧美 心	au&テレル・Kohara RT	TSR2	1'45.768
18	57	佐久間 孝司	ワイズエンジンアリアング	YZF-R6	1'45.844
19	26	小口 亘	ALLMAN&OWRACING	YZF-OWR6	1'45.891
20	44	関口 太郎	MISTRESA with HARC-PRO.	HP6	1'46.115
21	48	関 一正	Tribe+カムイ+T.R.P.	YZF-R6	1'46.321
22	16	中村 豊	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	1'46.467
23	29	赤間 清	MISTRESA with HARC-PRO.	HP6	1'48.310
24	79	朝比奈 正	アサヒレーシング	Z600	1'49.614
----- 以上予選通過 -----					
81	上和田 拓海	ウエビックチームノリックヤマハ	YZW-N6	出走せず	

予選通過基準タイム (110%) 1'51.546



●予選:天候/雨 路面/ウエット 出走27台  
●決勝スタート/15:00(20周)

Pos.	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	45	岩戸 亮介	Team高武 RSC	CBR600RR	1'39.674
2	7	稲垣 誠	AKENOSPEED-MIC	YZF-R6	1'39.953
3	6	横江 竜司	Yamaha Thailand Racing Team	YZF-R6	1'40.037
4	38	榎戸 育寛	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	1'40.056
5	46	Decha KRAISART	Yamaha Thailand Racing Team	YZF-R6	1'40.214
6	14	前田 恵助	伊藤レーシングGMDスズカ	YZF-R6	1'40.880
7	27	高橋 颯	TEAM PLUSONE	CBR600RR	1'40.940
8	47	北見 剣	エスバルスドリームレーシング	GSX-R600	1'41.078
9	65	Chalempol POLAMAI	Yamaha Thailand Racing Team	YZF-R6	1'41.125
10	9	近藤 湧也	GBSレーシング YAMAHA	YZF-R6	1'42.490
11	39	大久保 光	Ymobile&Kohara RT	CBR600RR	1'42.824
12	54	田尻 克行	Team RSC	CBR600RR	1'42.835
13	40	伊藤 和輝	Ymobile&Kohara RT	CBR600RR	1'43.096
14	※73	水澤 笑汰朗	MuSASHi RT Jr.	CBR600RR	1'43.447
15	※82	名越 哲平	MuSASHi RT Jr.	CBR600RR	1'43.615
16	12	津田 一磨	MotoMap WestPower	GSX-R600	1'43.779
17	16	奥野 翼	AKENO SPEED	YZF-R6	1'43.914
18	51	宗和 孝宏	51ガレージチームイフキ	YZF-R6	1'44.100
19	32	矢田 栄一郎	GBSレーシング YAMAHA	YZF-R6	1'44.122
20	15	中山 真太郎	TEAMしんたろうwithKRT	CBR600RR	1'44.414
21	24	中本 郡	リリカ AMENA with OutRun	YZF-R6	1'45.121
22	43	鈴木 力	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	1'45.457
23	33	渡部 裕貴	RT森のくまさん佐藤塾	YZF-R6	1'45.999
24	37	蒲谷 朋大	チームスガイレレーシングジャパン	ZX-6R	1'46.293
25	41	澤村 俊紀	HondaDream高崎B'WISE RT中央前橋	CBR600RR	1'46.306
26	29	長嶋 修一	石井りんご園モトアルファ	CBR600RR	1'46.538
27	57	飯島 高広	中村エンジン研究所	CBR600RR	1'48.276

----- 以上予選通過 -----  
予選通過基準タイム (110%) 1'49.641



●予選:天候/雨 路面/ウエット 出走27台  
●決勝スタート/10:00(20周)

Pos.	No.	Cls.	Name	Team	Machine	BestTime
1	410		宇井 陽一	41Planning.GlobalCommunication	TR004	1'44.896
2	39	y	真崎 一輝	Team RSC	NSF250R	1'44.915
3	12	y	栗原 佳祐	MuSASHi RT Jr.	NSF250R	1'45.215
4	55	y	國峰 琢磨	P. MU 7C HARC	NSF250R	1'46.814
5	634	y	水野 涼	MuSASHi RT/ハルクラブ	NSF250R	1'46.961
6	17		澁田 農央	TEAM-i-FACTORY	NSF250R	1'47.062
7	26	y	関野 海斗	P. MU 7C HARC	NSF250	1'47.138
8	22		岡崎 静夏	Ymobile&Kohara RT	NSF250R	1'47.816
9	45	y	太田 虎之進	CLUB PLUSONE	NSF250R	1'48.185
10	4		徳留 真紀	TOME TEAM PLUSONE	NSF250R	1'48.909
11	28		安村 武志	犬の乳酸菌.jpプリミティブR.T	PRCS3	1'49.210
12	23		高杉 奈緒子	モトバムwithヒポボタマス	NSF250R	1'49.365
13	10		古市 右京	KTM RACING.ASPIRATION	RC250R	1'49.482
14	31		Gerry Salim	Astra Honda Racing Team	NSF250	1'50.324
15	21		大内田 拓	オーテック・スズカ+RGニワ	NSF250	1'50.350
16	27	y	南本 宗一郎	オーテック・スズカ+RGニワ	TSR3	1'50.717
17	30	y	中山 愛理	TECHNICA with KUSHITANI 西宮	NSF250R	1'50.904
18	40	y	三原 壮紫	Team NOBBY & TEC2	NSF250R	1'50.984
19	32		畑中 要	FTR・タイヤナビ・(株)遠藤住宅	NSF250R	1'50.995
20	46		村井 浩志	ZAPPERRacing with YERC	NSF250R	1'51.046
21	37		川瀬 啓一郎	チーム KOHSAKA	NSF250R	1'51.434
22	47		古澤 幸也	FLEX Racing TEAM	NSF250R	1'51.587
23	24	y	船田 俊希	FLEX Racing TEAM	NSF250R	1'51.707
24	85		平子 剛志	クルーズレーシングチーム	NSF250R	1'53.610
25	34		岸田 慶一	FLEX Racing Team&MH OHARA	NSF250R	1'53.661
26	99		白石 玲菜	41Planning	NSF250R	1'54.727
27	36		野澤 秀典	ノザワレーシングファミリー	NSF250R	1'54.938
----- 以上予選通過 -----						
11			菊地 寛幸	TEAM TEC2 & NOBBY	NSF250R	出走せず
41	y		佐取 克樹	41Planning	NSF250R	出走せず

参加台数:29台 出走台数:27台  
予選通過基準タイム (110%) 1'55.386  
y=ユースカップ登録者

INFORMATION



今年も全日本ロードレース完全無料放送!!  
今シーズンはレース6日後の土曜日夜7時から!

2015年シーズンも全日本ロードレース選手権シリーズ全戦を「BS12 TwellTV(トゥエルビ)」で完全無料放送。しかも、今シーズンはレース開催6日後の土曜日夜7時からの放映です!  
迫力のバトル、車載カメラによる映像などをお楽しみください!!

■放映スケジュール  
第4戦SUGO 7月4日(土) 19:00~19:54

ますます充実するインターネット動画!!

USTREAM コース監視カメラの映像と実況アナの音声で予選・決勝をライブ配信! スマフォ対応です。

YouTube YouTube「MFJ SUPERBIKEオフィシャルチャンネル」では、予選・決勝直後のライダーインタビューを中心に、全日本ロードレースの迫力を動画にて配信!

MFJ Live CHANNEL TV収録用高画質映像を決勝レース終了後約1時間後に配信!

詳しくはファンサイトで → <http://superbike.jp/>

